

第 54 回日本臨床生理学会総会プログラム

会長講演「循環器病学 ―温故知新―」

11 月 4 日（土）14：00 ～ 15：00 A 会場（特別会議室）3F

司会：佐賀大学医学部 循環器内科 野出 孝一

演者：獨協医科大学 心臓・血管内科 井上 晃男

特別企画 市民公開講座「中濱（ジョン）万次郎から学ぶグローバル精神」

11 月 4 日（土）16：10 ～ 17：10 A 会場（特別会議室）3F

司会：獨協医科大学 心臓・血管内科 井上 晃男

演者：社会医療法人原土井病院 顧問 福岡大学名誉教授 今永 一成

吉村招請講演「慢性心不全に対する総合的心機能評価と包括的治療：Tei index と和温療法」

（共催：フクダ電子株式会社）

11 月 5 日（日）10：00 ～ 11：00 A 会場（特別会議室）3F

司会：聖マリアンナ医科大学 名誉教授 三宅 良彦

演者：和温療法研究所 所長／獨協医科大学 特任教授 鄭 忠和

特別講演 1 ランチョンセミナー「医師養成制度の現状と将来」

（共催：第一三共株式会社）

11 月 4 日（土）11：50 ～ 12：50 A 会場（特別会議室）3F

司会：日本医科大学 名誉教授 坂本 長逸

演者：学校法人獨協学園 理事長／獨協医科大学 名誉学長 寺野 彰

特別講演 2 ランチョンセミナー「システム学としての循環器病研究」

（共催：持田製薬株式会社）

11 月 5 日（日）12：10 ～ 13：10 A 会場（特別会議室）3F

司会：和温療法研究所 所長／獨協医科大学 特任教授 鄭 忠和

演者：自治医科大学 学長 永井 良三

心エコーハンズオンセミナー

（共催：東芝メディカルシステムズ株式会社）

11 月 4 日（土）9：30 ～ 11：30 E 会場（音楽練習室）3F

講師：獨協医科大学越谷病院 循環器内科 小林さゆき

講師：群馬県立心臓血管センター 技術部 戸出 浩之

講師：獨協医科大学 神経内科 脳卒中部門

獨協医科大学病院 超音波センター 竹川 英宏

ジャパンハートクラブ共催セッション「心肺運動負荷試験（CPX）の実践」

（共催：特定非営利活動法人 ジャパンハートクラブ）

11月5日（日）13：20～14：50 B会場（第2会議室）3F

司会：公益財団法人日本心臓血圧研究所振興会 榊原記念病院 伊東 春樹

「心肺運動負荷試験の指標とその応用」

演者：聖マリアンナ医科大学 循環器内科 大宮 一人

「心肺運動負荷試験の基礎」

演者：公益財団法人日本心臓血圧研究所振興会 榊原記念病院 伊東 春樹

演者：公益財団法人日本心臓血圧研究所振興会 榊原記念クリニック 検査科 前田 知子

コ・メディカルのための COPD／肺高血圧症セミナー

（共催：グラクソスミスクライン株式会社）

11月5日（日）14：20～16：30 C会場（第3会議室）3F

「肺高血圧症の医療連携について—終末期の医療連携も含めて—」

基調講演① 講師：獨協医科大学 心臓・血管内科 天野 裕久

「肺と心臓が共にダウンする COPD」

基調講演② 講師：千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学 巽 浩一郎

「呼吸リハビリテーションの実際」

基調講演③ 講師：独立行政法人 地域医療機能推進機構 うつのみや病院 相場みどり

「心臓リハビリテーション—CPXの結果に基づく生活指導について—」

講師：獨協医科大学 循環器・腎臓内科 山口すおみ

Q&A セッション：巽 浩一郎、天野 裕久

学生・研修医・実地医家・コメディカルのための心電図講座

（共催：日本光電工業株式会社、株式会社志成データム）

11月5日（日）15：20～17：00 A会場（特別会議室）3F

司会：獨協医科大学 循環器・腎臓内科 石光 俊彦

「急性冠症候群 心電図診断の極意」

演者：横浜市立大学医学部市民総合医療センター 心臓・血管センター 小菅 雅美

「今どきの心電図判読と危険な心電図」

演者：帝京大学溝口病院 第4内科・中央検査部 村川 裕二

教育講演 1 「エビデンスと機序から尿酸コントロールによる血圧と腎機能への好影響を考える」

(共催：株式会社三和化学研究所)

11月4日(土) 10:40～11:40 A会場(特別会議室) 3F

司会：佐賀大学医学部 循環器内科 野出 孝一

演者：鳥取大学大学院 医学系研究科 再生医療学分野 久留 一郎

教育講演 2 「逆流性食道炎の病態と治療」

11月4日(土) 10:40～11:40 B会場(第2会議室) 3F

司会：獨協医科大学 消化器内科 平石 秀幸

演者：日本医科大学 消化器内科学 岩切 勝彦

教育講演 3 日本臨床衛生検査技師会：認定心電技師認定更新のための研修会

「心電図 up to-date：日常業務におけるポイント」

11月4日(土) 13:30～16:30 B会場(第2会議室) 3F

司会：帝京大学医学部 臨床検査医学 古川 泰司

「認定心電技師に必要な心電図検査の精度管理—日本臨床衛生検査技師会の取組みと当検査部の

心電図教育・スキルアップ—」

演者：帝京大学医学部附属病院 中央検査部 富原 健

「ペースメーカー心電図—ペースメーカー機能をホルター心電図から学ぶ—」

演者：三菱京都病院 臨床検査科 山田 宣幸

「不整脈—心電図診断のピットフォール」

演者：東京慈恵医科大学葛飾医療センター 杉本 健一

「心電図検査の安全管理・精度管理」

演者：帝京大学医学部 臨床検査医学 古川 泰司

教育講演 4 「冠動脈疾患二次予防に向けた積極的脂質低下療法の意義」

(共催：サノフィ株式会社)

11月4日(土) 13:30～14:30 D会場(第4会場) 3F

司会：千葉大学大学院医学研究院 循環器内科学 小林 欣夫

演者：熊本大学大学院 生命科学研究部 循環器内科学 辻田 賢一

教育講演 5 「CGM を活用した糖尿病診療の実際」

(共催：田辺三菱製薬株式会社)

11月4日(土) 14:30～15:30 D会場(第4会場) 3F

司会：千葉大学大学院医学研究院 細胞治療内科学講座 横手孝太郎

演者：東京慈恵会医科大学附属第三病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 森 豊

教育講演 6「血管内皮機能測定：過去、現在、そして将来」

11月4日（土）15：00～16：00 A会場（特別会議室）3F

司会：東京医科大学 循環器内科学分野

富山 博史

演者：広島大学原爆放射線医科学研究所 ゲノム障害医学研究センター 東 幸仁

教育講演 7「今あらためてうっ血を考える」

（共催：大塚製薬株式会社）

11月5日（日）9：00～10：00 B会場（第2会議室）3F

司会：聖マリアンナ医科大学 循環器内科 明石 嘉浩

演者：北里大学北里研究所病院 循環器内科 猪又 孝元

教育講演 8「慢性腎臓病（CKD）進行抑制のための降圧療法の意義」

（共催：塩野義製薬株式会社）

11月5日（日）9：00～10：00 D会場（第4会議室）

司会：足利赤十字病院 腎臓内科

平野 景太

演者：自治医科大学 内科学講座 腎臓内科学部門 長田 太助

教育講演 9「心不全の研究・実臨床における臨床生理学のポジショニング」

（共催：アストラゼネカ株式会社）

11月5日（日）11：00～12：00 A会場（特別会議室）3F

司会：自治医科大学附属さいたま医療センター 百村 伸一

演者：国立循環器病研究センター 臨床研究部 北風 政史

教育講演 10「COPDにおける気道過分泌のインパクト」

11月5日（日）11：00～12：00 C会場（第3会議室）3F

司会：千葉大学医学部 呼吸器内科学

巽 浩一郎

演者：横浜市立大学大学院医学研究科 呼吸器病学 金子 猛

教育講演 11「“KISSの原則”と心原性脳塞栓症の予防」

（共催：バイエル薬品工業株式会社）

11月5日（日）13：20～14：20 A会場（特別会議室）3F

司会：獨協医科大学越谷病院 循環器内科

田口 功

演者：帝京大学医学部附属溝口病院 中央検査部 村川 裕二

教育講演 12「循環器疾患における睡眠呼吸障害の重要性と ASV の現状」

(共催：帝人在宅医療株式会社)

11 月 5 日 (日) 13:20 ~ 14:20 C 会場 (第 3 会議室) 3F

司会：日本医科大学大学院医学研究科 肺循環・呼吸不全先端医療学 木村 弘

演者：順天堂大学大学院医学研究科 心血管睡眠呼吸医学講座 葛西 隆敏

シンポジウム 1：循環器「超高齢化社会：予防から在宅まで」

11 月 4 日 (土) 9:00 ~ 10:30 A 会場 (特別会議室) 3F

司会：獨協医科大学 心臓・血管内科 中島 敏明

司会：防衛医科大学校病院 集中治療部 高瀬 凡平

S1-1 慢性腎臓病 (CKD) 発症予防に対する生活習慣

産業医科大学 健康開発科学 道下 竜馬

S1-2 高齢者の自立障害と Body compositional disorder (BCD)

杏林大学医学部 高齢医学 大荷 満生

S1-3 在宅医療の現況と今後の課題

西村ハートクリニック 西村 昌雄

S1-4 動脈硬化と循環器疾患

平成横浜病院健診センター 東丸 貴信

S1-5 地域在住高齢者における食事炎症性とフレイルの関連性

畿央大学 健康科学部 健康栄養学科 金内 雅夫

シンポジウム 2：消化器「機能性消化管疾患の新たな展開」

11 月 4 日 (土) 9:00 ~ 10:30 B 会場 (第 2 会議室) 3F

司会：帝京大学医学部 内科 山本 貴嗣

司会：日本医科大学武蔵小杉病院 消化器内科 二神 生爾

S2-1 機能性ディスぺプシアに対するアコチアミドの治療効果、愁訴別検討

横浜市立大学医学部 医学教育学 飯田 洋

S2-2 インスリン抵抗性と機能性消化管障害の関連について

東邦大学 総合診療・救急医学講座 鹿嶋 直康

S2-3 食道内圧検査と上部消化管内視鏡検査を併用した逆流性食道炎リスク評価

群馬大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科 栗林 志行

S2-4 Acotiamide 及び PPI 併用における消化管運動能ならびに摂食関連ホルモンの解析

日本医科大学 消化器内科学 山脇 博士

S2-5 過敏性腸症候群における消化管運動機能異常

東北大学大学院医学系研究科 行動医学分野 金澤 素

シンポジウム 3：呼吸器「COPD の身体活動性の評価と治療介入」

11 月 4 日（土）9：00～10：30 C 会場（第 3 会議室）3F

司会：獨協医科大学 呼吸器・アレルギー内科 石井 芳樹
司会：大阪市立大学 呼吸器内科 平田 一人

S3-1 COPD の身体活動性の評価と治療介入

KKR 札幌医療センター 呼吸器科 福家 聡

S3-2 日常活動性とバイオマーカー

大阪市立大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 井尻 尚樹

S3-3 COPD 患者における 24 時間パルスオキシメトリーの有用性と身体活動性

獨協医科大学 呼吸器・アレルギー内科 小池 亮祐

S3-4 COPD おける身体活動性の新しい評価と治療介入

秋田大学大学院医学系研究科 保健学専攻理学療法学講座 塩谷 隆信

シンポジウム 4：循環器「循環器疾患予防の新展開：疫学から地域医療へ」

11 月 4 日（土）10：10～11：40 D 会場（第 4 会議室）3F

司会：獨協医科大学日光医療センター 心臓・血管・腎臓内科 安 隆則
司会：日本医科大学 衛生学公衆衛生学 大塚 俊昭

S4-1 家庭血圧測定：コホート研究から介入試験、メタ解析まで

帝京大学医学部 衛生学公衆衛生学講座 浅山 敬

S4-2 予防段階、遺伝と環境、世代を切れ目なく繋ぐ循環器疫学研究—成育予防医学の視点から

獨協医科大学医学部 公衆衛生学講座 小橋 元

S4-3 急性心不全患者の予後における量栄養素の重要性

順天堂大学医学部付属浦安病院 ハートセンター・循環器内科 宮崎 哲朗

S4-4 循環器疾患のプライマリケア（地域診療）

自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器内科 梅本 富士

S4-5 加齢に伴う身長減少における性差についての検討

国際医療福祉大学病院 循環器内科 齋藤 大樹

シンポジウム 5 (脈波シンポジウム)「脈波解析の臨床応用の可能性と課題」

11月4日(土) 13:30 ~ 16:30 C会場(第3会議室) 3F

司会: 自治医科大学健診センター 宮下 洋
日本医科大学多摩永山病院 小谷英太郎

- S5-1 Opening Remark: 脈波が運ぶ生体情報とその伝播現象の理論的基盤
自治医科大学健診センター 宮下 洋
- S5-2 SDPTG b/a、d/a および PWV と年齢についての検討
安田女子大学 家政学部 管理栄養学科 井上 典子
- S5-3 Second derivative of photoplethysmogram's Time indexes
ビチェダム 漢方医院 (Bichedam Clinic Korean Medicine, Seoul, Korea) 文 豪彬
- S5-4 血管拡張薬投与に対する弾性動脈と筋性動脈における Beta 値の有用性
福島県立医科大学医学部 細胞統合生理学 勝田新一郎
- S5-5 睡眠の血管弾性能 CAVI に与える影響とその意義
東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座循環器分野 高橋 真生
- S5-6 健診受診者における頭部 MRI での早期大脳白質病変と高血圧および CAVI との関連性
日本医科大学 衛生学公衆衛生学 大塚 俊昭
- S5-7 眼底血流脈波解析における全身動脈硬化予測の可能性
東邦大学・大森 眼科 柴 友明
- S5-8 新規オシロメトリックセンサー内蔵カフ血圧脈波速度測定装置の精度検証
東京医科大学 循環器内科 藤井 昌玄
- S5-9 血圧・脈波測定標準化の問題点
帝京大学医学部附属病院 中央検査部 渡邊 千絵

シンポジウム 6: 循環器「地域包括ケア時代のアンメニットニーズと対策—心不全診療を中心に—」

11月5日(日) 9:00 ~ 10:00 A会場(特別会議室) 3F

司会: 国際医療福祉大学病院 循環器内科 柴 信行
司会: 自治医科大学 循環器内科 甲谷 友幸

- S6-1 リアルワールドにおける心不全診療の展開
東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野 坂田 泰彦
- S6-2 大動弁狭窄症における治療の現状
獨協医科大学 心臓・血管内科 那須野尚久
- S6-3 ICT を用いた高血圧診療の実践
南三陸病院 西澤 匡史
- S6-4 不整脈疾患を合併する心不全治療—心房細動を中心に—
国際医療福祉大学病院 循環器内科 ハートリズム科 福田 浩二
- S6-5 大動脈弁疾患に対するカテーテル治療の功罪
自治医科大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門 船山 大

シンポジウム 7：呼吸器「COPD（慢性閉塞性肺疾患）の全身併存症と肺合併症：病態と治療法，
将来の展望」

11月5日（日）9：00～10：00 C会場（第3会議室）3F

司会：獨協医科大学日光医療センター 呼吸器内科 原澤 寛
司会：日本医科大学大学院医学研究科 肺循環・呼吸不全先端医療学 木村 弘

S7-1 COPD 患者の病態からみた骨粗鬆症の治療

奈良県立医科大学 内科学第二講座 吉川 雅則

S7-2 COPD 合併肺がん患者のマネジメント

日本医科大学医学部 呼吸器内科学 久保田 馨

S7-3 肺高血圧症 薬物治療の展望

千葉大学大学院 先端肺高血圧症医療学 田邊 信宏

シンポジウム 8：神経「これだけは押さえない神経疾患における頭頸部超音波検査」
（共催：ファイザー株式会社ブリistol・マイヤーズスクイブ株式会社）

11月5日（日）11：00～12：00 B会場（第2会議室）3F

司会：獨協医科大学 神経内科（脳卒中部門）獨協医科大学病院 超音波センター 竹川 英宏
司会：自治医科大学医学部 内科学講座 神経内科学部門 藤本 茂

S8-1 脳梗塞超急性期治療における頸動脈エコーが果たす役割 「先生、待って下さい、そのt-PA」

自治医科大学医学部 内科学講座 神経内科学部門 松園 構佑

S8-2 頸動脈超音波検査におけるパルスドプラ波形に影響する因子

公立阿伎留医療センター 岡部 龍太

S8-3 脳卒中診療における経頭蓋超音波

東京慈恵会医科大学 神経内科 三村 秀毅

S8-4 パーキンソン病関連疾患における経頭蓋超音波検査

獨協医科大学 神経内科 鈴木 圭輔

シンポジウム 9：泌尿器「排尿障害患者治療における地域医療連携—パーキンソン病における
下部尿路機能障害診療ガイドラインを受けて—」
（共催：日本新薬株式会社）

11月5日（日）11：00～12:00 D会場（第4会議室）3F

司会：国立病院機構 栃木医療センター 長谷川親太郎
獨協医科大学 排泄機能センター 泌尿器科 山西 友典

S9-1 排尿障害治療における地域医療連携—特に前立腺肥大症と神経因性膀胱における薬物療法

獨協医科大学 排泄機能センター 泌尿器科 山西 友典

S9-2 パーキンソン病における下部尿路機能障害診療ガイドラインにもとづいた神経因性膀胱の
診断・治療と医療連携

東邦大学医療センター佐倉病院 内科学神経内科 榊原 隆次

ミニシンポジウム 1「肥満・代謝・バイオマーカー」

11月4日（土）9：00～10：00 D会場（第4会議室）3F

司会：獨協医科大学 心臓・血管内科 小尾正太郎
大分大学医学部 臨床薬理学 大谷 直由

- MS1-1 骨格筋は温度に応答して TRPV1/PKC/CREB を介してインターロイキン 6 を分泌する
獨協医科大学 心臓・血管内科 小尾正太郎
- MS1-2 体表温度記録計（iButton）を用いた生体リズム評価の基礎的検討
神戸大学大学院 保健学研究科 大西由希子
- MS1-3 神経調節性失神におけるアデニル酸シクラーゼ活性量の違いと $\alpha 2B$ -AR 遺伝子多型との関係
東海大学医学部 臨床薬理学 小見山智義
- MS1-4 地域在住高齢者における腸内細菌叢と食習慣・肥満の関連について
畿央大学 健康科学部 健康栄養学科 柴田 満
- MS1-5 心電図波形から BNP 値推測が可能かの検討
TMG 新座志木中央総合病院 臨床検査科 服部 直行
- MS1-6 難治性心不全に対する SGLT2 阻害薬の検討
社会医療法人 長崎記念病院 循環器科 吉武 孝敏

ミニシンポジウム 2「運動負荷・呼吸循環動態」

11月5日（日）9：00～10：00 E会場（音楽練習室）3F

司会：那須赤十字病院 循環器内科 景山 倫也
国立病院機構 宇都宮病院 沼尾 利郎

- MS2-1 呼吸器疾患での treadmill による呼気ガス分析での exercise tolerance の評価
橋本市民病院 呼吸器内科 藤田 悦生
- MS2-2 Cyfra 測定の Bronchoalveolar lavage（BAL）と血清での比較
橋本市民病院 呼吸器内科 藤田 悦生
- MS2-3 循環動態からみた高齢者に対する運動強度・運動量の試算
社会医療法人 原土井病院 臨床検査科 今永 一成
- MS2-4 正常血圧者における運動負荷試験中の過剰血圧反応と栄養摂取状況との関係
産業医科大学 健康開発科学 道下 竜馬
- MS2-5 心大血管手術患者における血清アディポネクチン、TNF α と心外膜脂肪の脂肪酸組成との関連
獨協医科大学 心臓・血管内科 澤口 達也
- MS2-6 ラット加圧モデルによる骨格筋各種蛋白質発現に及ぼす増強効果についての検討
獨協医科大学 心臓・血管内科 中島 敏明

ミニシンポジウム 3「動脈硬化・脳卒中・新規抗凝固薬」

11月5日（日）10：00～10：50 E会場（音楽練習室）3F

司会：獨協医科大学 神経内科 鈴木 圭輔
獨協医科大学 心臓・血管内科 佐久間理吏

MS3-1 シスタチンCを用いたeGFRとEPA/AAとによる心血管疾患リスク評価

南和歌山医療センター 循環器科 橋爪 俊和

MS3-2 圧迫と電気刺激併用療法による血管内皮機能への影響の検討

名古屋大学大学院医学系研究科 リハビリテーション療法学専攻 高木 大地

MS3-3 収縮期最大血流速度の計測角度と内頸動脈狭窄の関係

獨協医科大学 神経内科 脳卒中部門 五十嵐晴紀

MS3-4 超高齢者に対するDOACの使用経験と出血性イベント

前沢内科医院 前沢 宏忠

MS3-5 経口抗凝固薬投与中の消化管出血と治療における影響

帝京大学医学部 内科 山本 貴嗣

ミニシンポジウム 4「コ・メディカルセッション：臨床生理学の知識を実践臨床にどのように活かすか」

ジョイントシンポジウム：一般社団法人日本心臓病学会，公益社団法人日本理学療法士協会

11月5日（日）11：00～11：40 E会場（音楽練習室）3F

司会：公益財団法人日本心臓血圧研究振興会 榊原記念クリニック 検査科 前田 知子

MS4-1 臨床生理学の知識が日常業務にどのように役立っているか？

国際医療福祉大学 成田保健医療学部 田嶋 明彦

MS4-2 臨床生理検査における看護師の新たな役割—生活体験に目を向ける，病いへのケア—

獨協医科大学病院 循環器・腎臓内科外来 戸沢 智也

MS4-3 身体機能評価の結果を実践臨床にどのように活かすか

東京工科大学 医療保健学部 高橋 哲也

ミニシンポジウム 5「実地医家セッション：実地医家の診療技術」

11月5日（日）13：20～13：50 D会場（第4会議室）3F

司会：東戸塚記念病院 小川 研一

MS5-1 デトックスを取り入れたアトピー性皮膚炎に対する代替療法

藤沼医院 藤沼 秀光

MS5-2 脈診から血圧の推測は可能か？

医療法人英静会 森病院 内科 長尾伊知朗

MS5-3 スマホ連携リスト型ウェアラブル血圧計の開発

やたがいクリニック 谷田貝茂雄

ミニシンポジウム 6「コ・メディカルセッション：心臓カテーテルにおけるチーム医療とその役割」

11月5日（日）13：20～14：00 E会場（音楽練習室）3F

司会：獨協医科大学病院 臨床工学部 荒井洋次郎

MS6-1 放射線技師のシゴト

済生会宇都宮病院 診療放射線技術科 大築 慎一

MS6-2 心カテ室での看護師の役割

自治医科大学附属病院 看護部放射線科 岡澤 美穂

MS6-3 術前カンファレンスの効果

那須赤十字病院 看護部処置外来 佐藤 照美

MS6-4 当院における心臓カテーテル検査の臨床工学技士の関わり

友愛記念病院 臨床工学科 福富 大介

MS6-5 心臓カテーテル業務と臨床工学技士の役割

獨協医科大学病院 臨床工学部 堀井 敬

ミニシンポジウム 7「学生セッション」

11月15日（日）13：50～14：50 D会場（第4会議室）3F

司会：福島県立医科大学医学部 細胞統合生理学 勝田新一郎

MS7-1 HeLa 細胞の低浸透圧負荷時における細胞膨張について

福島県立医科大学医学部 5年 藤井あゆみ

MS7-2 β 遮断薬投与による弾性動脈と筋性動脈における PWV と Beta 値に関する実験的検討

福島県立医科大学医学部 4年 藤倉 佑光

MS7-3 本学解剖実習において観察された冠状動脈走行型の傾向

獨協医科大学医学部 4年 高野 賢太

MS7-4 2型糖尿病における医師・患者関係の日独比較について

獨協医科大学医学部 5年 石崎 郁絵

MS7-5 荷物の運搬方法の違いが呼吸循環動態に及ぼす影響について

東京工科大学医療保健学部 4年 本清 幸治

MS7-6 日本への侵入が懸念される V 型日本脳炎ウイルスに対するワクチン開発に向けて

獨協医科大学医学部 3年 本荘せいら

ミニシンポジウム 8「実地医家セッション：地域医療における、実地医家と基幹病院の役割 —包括と共生—」

11月5日（日）14：10～14：50 E会場（音楽練習室）3F

司会：西那須野内科循環器科クリニック 鈴木 明裕

医療法人社団 桃木内科クリニック 桃木 茂

MS8-1 地域医療における中規模基幹病院の役割

社会医療法人 さいたま市民医療センター 内科 石田 岳史

MS8-2 地域包括ケアにおける在宅医療の役割

那須塩原クリニック・健康増進センター 総合診療科 黒崎 史果

MS8-3 高齢者診療の進歩と病診連携—循環器疾患を中心に—

国際医療福祉大学病院 循環器センター 柴 信行

MS8-4 大宮医師会に於ける特定健診への取り組み

医療法人健英会 鈴木医院 鈴木 英彦

ミニシンポジウム 9「研修医セッション：診断と生理学」

11月5日（日）14：50～15：30 D会場（第4会議室）3F

司会：獨協医科大学 総合診療科	廣澤 孝信
ディスカッサント：自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター	岡田 亜衣
獨協医科大学病院 臨床研修センター	鮫島 舞
獨協医科大学病院 臨床研修センター	中島 貴文
自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター	小野真里花

ミニシンポジウム 10「自律神経・睡眠時無呼吸」

11月5日（日）15：00～16：00 E会場（音楽練習室）

司会：那須赤十字病院 呼吸器内科	阿久津郁夫
獨協医科大学 心臓・血管内科	阿部 七郎

- | | | |
|---|--------------------------|-------|
| MS10-1 近赤外分光法による筋交感神経活動の評価への試み | 都立産業技術高等専門学校 | 福田 恵子 |
| MS10-2 パーキンソン病関連疾患における open essence を用いた嗅覚障害の検討 | 獨協医科大学 神経内科 | 渡邊 悠児 |
| MS10-3 幅広い年齢層における心拍変動解析を用いた健常者の自律神経活動の特徴 | 防衛医科大学校 集中治療部 | 橋本 賢一 |
| MS10-4 睡眠時無呼吸症候群検査に向けた血流量対疑似いびき音の第一フォルマント周波数変化の特徴 | 都立産業技術高等専門学校 | 吉澤 昌純 |
| MS10-5 肥大型心筋症患者における睡眠呼吸障害の検討 | 国際医療福祉大学 循環器科 | 佐竹 洋之 |
| MS10-6 経皮的炭酸ガス分圧測定有用性の臨床的検討 | 帝京大学ちば総合医療センター 第三内科（呼吸器） | 會田 啓介 |

ワークショップ 1「肺高血圧症の臨床生理学的理解を目指してー基礎と臨床の両面からー」

11月4日（土）10：40～11：40 C会場（第3会議室）3F

司会：浜松医療センター 呼吸器内科	笠松 紀雄
-------------------	-------

- | | | |
|--|---------------------|-------|
| W1-1 肺高血圧症における 2D 心エコー図を用いた右心機能評価について | 獨協医科大学 心臓・血管内科 | 天野 裕久 |
| W1-2 肺動脈性肺高血圧症の病態におけるオートファジーの関与 | 浜松医療センター 呼吸器内科 | 加藤 史照 |
| W1-3 CTEPH 器質化血栓から分離した内皮細胞における血管新生能の検討 | 千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学 | 内藤 亮 |
| W1-4 慢性血栓塞栓性肺高血圧症における血管内皮前駆細胞 | 千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学 | 山本 慶子 |

ワークショップ2「サルコイドーシスを多面的にみる」

11月4日（土）15：30～16：40 D会場（第4会議室）3F

司会：佐久総合病院佐久医療センター 循環器内科 矢崎 善一

W2-1 心サルコイドーシスの病因論に基づく新たな診断法と治療戦略

東京医科歯科大学 人体病理学 江石 義信

W2-2 サルコイドーシスの呼吸機能

信州大学医学部 保健学科 藤本 圭作

W2-3 左室機能不全の病院診断に¹⁸F-FDG PETが有用であった一例

自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器内科 伊部 達郎

W2-4 新たな心臓サルコイドーシスの診療ガイドライン

大阪医科大学医学教育センター 循環器内科 寺崎 文生

ワークショップ3「地域医療と漢方」

11月5日（日）15：30～16：30 D会場（第4会議室）3F

司会：国立病院機構 栃木医療センター 加藤 徹
野木病院 加藤 士郎

W3-1 地域医療と漢方 オーバービュー

野木病院 加藤 士郎

W3-2 難治性高齢者心不全患者におけるトルバプタン、五苓散併用効果の臨床的検討

協和中央病院 筑波大学附属病院 玉野 雅裕

W3-3 認知症と抑肝散

獨協医科大学 神経内科 永島 隆秀

W3-4 痛みの治療と漢方薬

獨協医科大学 麻酔科 濱口 眞輔

W3-5 漢方薬で随伴症状の治療することにより月経が再来した続発性無月経症例の検討

つくばセントラル病院 東邦大学薬学部 岡村 麻子

第 22 回日本臨床生理学会優秀論文賞（平成 29 年度）受賞講演

11 月 4 日（土）13：45 ～ 14：00 A 会場「特別会議室」3F

司会：獨協医科大学 心臓・血管内科 井上晃男

(1) 藤田 悦生（橋本市民病院 呼吸器内科）

Usefulness of Empey Index in Evaluating Upper Airway Obstruction in Obstructive Sleep Apnea Syndrome Patients

日本臨床生理学会雑誌, 47 (1) : 3-14, 2017

Objective: The purpose of this study was to evaluate upper airway obstruction (UAO) using the Empey (FEV_1/PEF) and air trapping (ATI) indices before treating obstructive sleep apnea syndrome (OSAS) to determine whether the obtained ratios differed.

Methods: Suspected sleep apnea syndrome patients ($n = 65$; male, 57; female, 8; age, 60.3 ± 2.3 yr) were evaluated based on a polysomnogram. Continuous positive airway pressure (CPAP) or a mandibular advancement splint (MAS) were introduced based on the apnea hypopnea index (AHI) score. A pulmonary function test was performed and FEV_1/PEF and the ATI ($(VC-FVC)/VC$) score evaluated before initiating therapy with CPAP or MAS.

Results: Among 65 patients, CPAP or MAS was applied in 32 (29 males; 3 females; age, 56.3 ± 2.7 yr). Continuous positive airway pressure was introduced in 25 patients, and MAS in 7. The body mass index (BMI) score (kg/m^2) showed a correlation with the AHI score ($r = 0.487$, $P < 0.0001$); it did not correlate significantly with the Empey index score, however ($r = -0.174$). The AHI score showed no significant correlation with the Empey index score ($r = -0.033$). The AHI score among CPAP users was 36.7 ± 3.2 , while that among MAS users was 16.0 ± 4.6 . The AHI score was 11.0 ± 2.5 in patients who did not use this device. The FEV_1/PEF value in CPAP users was 6.02 ± 0.26 , and that in MAS users was 6.72 ± 0.46 . The FEV_1/PEF in patients who used no device was 6.36 ± 0.30 . The ATI score in CPAP users was 3.88 ± 4.06 , while that in MAS users was 2.68 ± 1.05 . The ATI score in patients who did not use a device was 4.14 ± 1.18 . The BMI score showed no significant correlation with the ATI score ($r = -0.110$). The AHI score showed no significant correlation with the ATI score ($r = 0.018$). The ATI score showed no significant correlation with FEV_1/PEF ($r = -0.038$).

Conclusion: Determining the Empey index in OSAS patients with a BMI score of lower than average was helpful in determining the degree of UAO.